

早稲田ビジネススクールで人気の「ロジネゴ」授業を再現

戦略思考・問題解決

イノベーションを生み出す クリティカルシンキング

日常のビジネスからイノベーション創造に至るまで、基本となる思考のフレームワークを学びます

セミナーのねらい

「人にうまく伝えられない」「複雑な情報を上手に整理できない」「発想力が弱い」

これらをセンスの問題だと諦めていませんか。こうした悩みの多くは、実はセンスの問題ではなく、思考のフレームワークが身につけていないことが原因です。

「社内からイノベーションが生まれにくい」「新規事業がうまく進まない」
これらを企業の資金力や人材の質のせいにしていませんか？多くの場合、問題の本質は組織に「共通言語」がないことです。

個人も組織も、基礎となる「思考のフレームワーク」と「共通言語」を身につけない限り、どんな戦略を載せても成果がでにくいのです。

本講座では、ビジネスパーソンとしてのリテラシーとも言えるクリティカルシンキングスキルの基本から継続的なトレーニング方法まで紹介し、受講者の継続的な成長・変化の土台を提供します。

具体的には、クイズやグループワークを通じて、ビジネスパーソンが陥りがちな思考のパターンを実体験し、その思考に陥る原因について明らかにします。また、ケースを使用して参加者同士課題に取り組み、ロールプレイングをすることで、考えながらコミュニケーションすることの難しさに触れ、解決の糸口について共有します。

鶴谷 武親 氏

早稲田大学 大学院経営管理研究科
(ビジネススクール) 客員教授
ポリゴンマジック代表取締役



埼玉大学教養学部卒業。ポリゴンマジック代表取締役。多摩美術大学講師を経て、2005年より早稲田大学大学院で教鞭をとる。セコムにてグループ事業戦略などを担当後、デジタルハリウッド、アイ・エム・ジェイ、デジタルスケープをはじめ、数多くのスタートアップの創業に携わる。また、総合電機メーカー、総合商社、通信キャリアなど、多くの企業の事業アドバイザー・社外取締役を務めるほか、医療法人社団理事、政府委員会委員、非営利団体理事などを歴任。早稲田大学では社会人教育をはじめ、博士人材の育成、起業家育成等を担当。早稲田大学EDGEプログラムアドバイザーを務め、大学発ベンチャーの育成にも力を入れる。

プログラム

- イノベーションを生み出す思考法
- クリティカルシンキングのプロセスを知る
- 先入観の生成プロセスを知る
- 前提を疑う
- ゼロ私思考
- 歴史に学ぶ
- 継続訓練法

日時

2020年2月7日(金)

10:00 ~ 17:00

会場

日本経済新聞社6階
「日経・大手町セミナールーム1」
(日経カンファレンス&セミナールーム内)

受講料

46,200円(税込み)

対象者

マネージャー、リーダー、経営幹部、
次世代幹部、新任、部長、課長、中堅、若手、
執行役員、事業部長

レベル

基礎

WEB検索番号:P1901813